

国際ワークショップ Eduardo Kohn 講演 「How Forests Think 森はいかに思考するのか」



日時：2014年5月21日（水）17:30～19:30

会場：立命館大学衣笠キャンパス学而館 2F 第2研究会室

（事前申し込み不要・使用言語 英語（日本語））

講師：Eduardo Kohn (McGill University, Canada)

コメンテーター：大村敬一（大阪大学）

Eduardo Kohn 氏はエクアドール・アマゾン上流地方の先住民もとの調査を基に、an Anthropology beyond the Human (人を越えた人類学)という挑戦的な視座を立てている気鋭の人類学者である。本ワークショップでは、北米先住民の民族誌学的な調査を積み重ねてきた大村敬一氏をコメンテーターに招き、南北アメリカで発展した自然の様相について議論したい。人と、野生動物や狩猟犬などの人ではない存在とのあいだの交信を先住民がいかに捉えているのか、その様式に触れてきた二人の対話を通じて、アメリカ大陸のみならずあらゆる人間と環境のあいだに生起する交感の多様なありかたについて考える機会となるだろう。

コーディネーター近藤宏（国立民族学博物館・外来研究員）